

- ALPS処理水の取扱いに関して、地域の皆さま、関係者の皆さまをはじめ、社会の皆さまのご不安の解消やご安心につながるよう、ALPS処理水を含む海水の水槽で海洋生物を飼育し、通常の海水で飼育した場合との比較を行い、その状況をわかりやすく、丁寧にお示ししたいと考えています。
- また、トリチウム等の挙動については、国内外で数多くの研究がされてきており、それらの実験結果を踏まえて、まずは半年間の試験データを収集し、過去の実験結果と同じように「生体内でのトリチウムは濃縮されず、生体内のトリチウム濃度が生育環境以上の濃度にならないこと」もお示ししたいと考えています。
- 2022年9月頃から「海水」と「ALPS処理水を含む海水」の双方の環境下で飼育試験を開始する予定ですが、それに先立ち、3月から、飼育ノウハウの習得や設備設計の確認等を目的とした発電所周辺の通常の海水での飼育を、社外の専門家による専門的・技術的なサポートを得ながら開始します。

<[2022年2月24日お知らせ済み](#)>

- このたび、準備が整ったことから、本日（3月17日）から、発電所敷地内に設置した「飼育準備水槽」において、近海の海水を用いたヒラメ（約100尾）の飼育練習を開始しました。
- 日々の飼育状況については、当社ホームページにあらたに開設した「海洋生物飼育日誌」にて本日からお知らせしていきます。また、当社（東京電力ホールディングス株式会社）のtwitter公式アカウントでも、同様に情報を発信していきます。

ホームページ：<http://www.tepco.co.jp/decommission/information/newsrelease/breedingtest/index-j.html>

Twitterアカウント：<https://twitter.com/TEPCOfishkeeper>

【参考】 飼育練習の様子、海洋生物飼育日誌



ヒラメの様子1



飼育準備水槽



ヒラメの様子2

<海洋生物飼育日誌>

2022年3月17日9時

天気 晴れ

水温 18℃

ヒラメ約100尾が到着し、発電所での飼育が始まった。

ヒラメは約20cmの大きさで、4つの水槽に分かれて入っている。

先ずは普通の海水を使った飼育練習を7月頃まで行う。

生き物相手なので何事にも慎重になってしまうが、魚たちも新しい環境に慣れてない様子。(石)



海洋生物飼育日誌

【参考】海洋生物飼育日誌ホームページ掲載箇所

【廃炉プロジェクトトップページ】



定例資料

資料	補足
特定原子力施設に係る実施計画の申請状況 >	-
福島第一原子力発電所1〜3号機における原子炉内温度計および原子炉格納容器内温度計の信頼性評価について (毎月中旬頃更新) >	補足資料 >
福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について (毎週月曜日) >	補足資料 >
福島第一原子力発電所作業者の被ばく線量の評価状況について (毎月月末更新) >	-
原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果 (毎月月末更新) >	
建屋への地下水ドレン移送量・地下水流入等の推移 (毎週月曜日更新) >	
放射線データの概要 (毎月月初更新) >	

新規 **海洋生物の飼育日誌**

海洋生物の飼育日誌

海洋生物の飼育日誌のページです。現在、海洋生物の飼育試験開始に向けた準備として、海水による海洋生物の飼育を開始しましたので、日々の飼育状況を掲載しています。

飼育試験に向けた準備

準備① (3月〜7月頃)
 <管理対象区域外>
 海水での飼育 (飼育準備)

- 飼育ノウハウの習得
- 飼育準備水槽での飼育
- モックアップ水槽での飼育
- 設備設計の確認
- 試験的な飼育を行い、飼育試験に向けた必要な設備の確認

準備② (7月〜9月頃)
 <管理対象区域内>
 海水での飼育 (飼育試験準備)

- 海水でのならし飼育
- 飼育試験用の海洋生物類の搬入、ならし飼育
- るる造葉 (バクテリアの定着) の確認
- 水質設備等の機能確認
- 飼育試験と調達の水槽 (飼育試験用水槽) を設置して、機能確認

飼育試験 (9月頃〜)
 <管理対象区域内>
 「海水」と「海水で希釈したALPS処理水」での飼育

- 飼育試験用水槽4系列のうち、2系列にALPS処理水を追加
- 「海水」と「海水で希釈したALPS処理水」での生育状況等の確認
- データ等の公表

準備①(飼育準備) : 飼育試験とは別のヒラメ100尾を海水で飼育し、飼育ノウハウの習得及び水質維持に必要なバクテリアの成長 (成長後、飼育試験用水槽に移し替え) を図ります。

準備②(飼育試験準備) : 飼育試験用水槽および周辺設備の機能確認を行います。その後、飼育試験用の海洋生物類を搬入し、飼育試験用水槽 (4系列) での海水によるならし飼育、病気有無の確認及びバクテリアの定着具合の確認等を行います。

飼育試験 : 飼育試験用水槽4系列のうち、2系列にALPS処理水を追加、飼育試験を開始します。

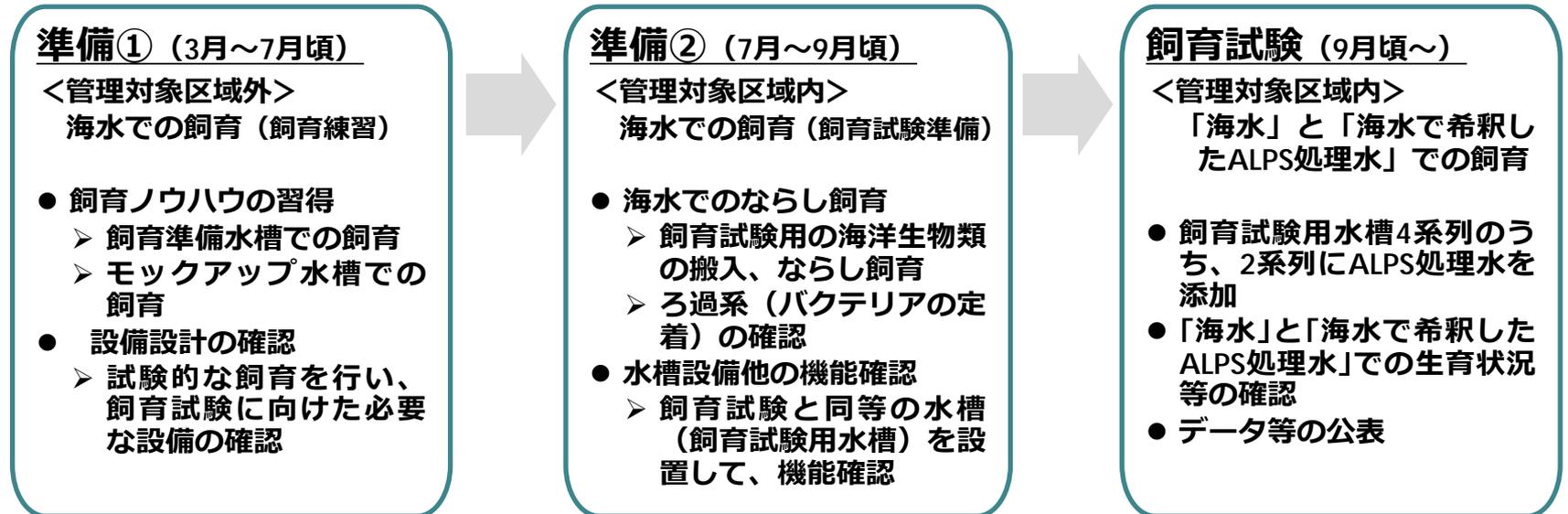
2022年

2022年3月
+

掲載箇所

【参考】飼育試験に向けた準備

- ヒラメ等の飼育技術は一般的に確立したものであり、専門家からのご指導をいただき、飼育試験開始に向けた準備を進めています。
- 飼育試験をより確実に進めるため、2022年9月頃の飼育試験開始までの時間を『準備』と位置づけ活用します。



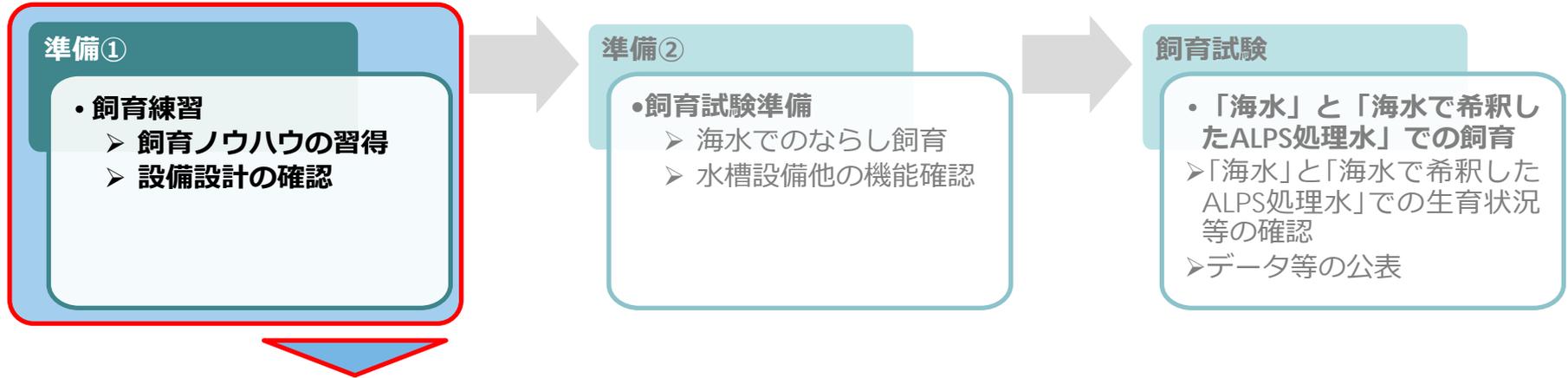
準備①[飼育練習] : 飼育試験とは別のヒラメ100尾他を海水で飼育し、飼育ノウハウの習得及び水質維持に必要なバクテリアの成長（成長後、飼育試験用水槽に移し替え）を図ります。

準備②[飼育試験準備] : 飼育試験用水槽および周辺設備の機能確認を行います。その後、飼育試験用の海洋生物類を搬入し、飼育試験用水槽（4系列）での海水によるならし飼育、病気有無の確認及びバクテリアの定着具合の確認等を行います。

飼育試験 : 飼育試験用水槽4系列のうち、2系列にALPS処理水を加え、飼育試験を開始します。

【参考】準備①に関する概要

- 準備①の段階では、発電所敷地内（管理対象区域外）で、ヒラメとアワビ（ヒラメ100尾、アワビ20個程度を予定）を、発電所周辺の海水で飼育します。
- 飼育ノウハウの習得他、飼育試験用水槽の詳細設計の確定等を達成目標としています。



試験段階	飼育等のイメージ	達成目標（成果物）	場所
飼育練習 飼育試験に向けたノウハウの習得他	<ul style="list-style-type: none"> 設備：飼育水槽1系列 (通常海水) 飼育：ヒラメ 100尾程度 	<ul style="list-style-type: none"> 飼育ノウハウの習得 	発電所敷地内 - 管理対象区域外 - - 協力企業棟近く -
モックアップ水槽	<ul style="list-style-type: none"> 設備：飼育水槽1系列 (通常海水) 飼育：ヒラメ、アワビ、海藻類（検討中） ヒラメは飼育準備水槽から移送。アワビ20個 	<ul style="list-style-type: none"> 飼育ノウハウの習得 飼育試験用水槽の詳細設計の確定 水槽以外の飼育設備に対する要求事項の抽出 飼育、運用手順書の策定 	発電所敷地内 - 管理対象区域外 - - 西門近傍 -

【参考】スケジュール

試験段階	場所	2021年度		2022年度				2023年度	
		3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
準備① (飼育練習)	発電所敷地内 - 管理対象区域外 - - 協力企業棟近く等 -		飼育準備水槽における 飼育ノウハウの習得		モックアップ水槽における 飼育ノウハウの習得、 バクテリアの成長他				
準備② (飼育試験準備)	発電所敷地内 - 管理対象区域内 - - 正門近傍 -		飼育試験用ヒラメの孵化、成長 【孵化】		飼育試験用ヒラメの孵化、成長 【搬入】		飼育試験設備の機能確認、 ヒラメ等のならし飼育、 病気の有無の確認、 バクテリアの定着他		
飼育試験							飼育試験	飼育試験で得られた データの公表	

今後の進捗により、スケジュールは変わることがあります。

【参考】飼育試験等に関する情報公開方針について

- 飼育練習や飼育試験の状況などを透明性高く、積極的に情報公開していきます。

飼育練習の状況

- 日々の飼育状況を、飼育準備水槽での飼育開始にあわせて、ホームページやTwitterで公開を開始

飼育試験の状況

- 以下を飼育試験開始から公開
 - 飼育試験の目的・概要、生体内トリチウムの基礎知識など
 - 連続：飼育水槽のカメラによるウェブ公開
 - 定期：飼育環境（水質、温度等）、飼育状況（飼育数の変化等）、分析結果（生体内トリチウム濃度と海水内トリチウム濃度の比較等）など

異常発生時

- 異常の内容とその原因など

飼育試験終了時

- 飼育試験の総括など